



前提条件

この章では、*Cisco Data Center Network Manager* の展開に関するリリース固有の前提条件について説明します。

- [DCNM オープン仮想アプライアンスの前提条件, on page 1](#)
- [DCNM ISO 仮想アプライアンスの前提条件, on page 2](#)
- [Cisco DCNM 仮想アプライアンス HA の前提条件, on page 3](#)

DCNM オープン仮想アプライアンスの前提条件

Cisco DCNM オープン仮想アプライアンスをインストールする前に、次のソフトウェアとデータベース要件を満たす必要があります。

- Windows サーバで実行されている VMware vCenter サーバ(または代わりに仮想アプライアンスとして実行されている)。
- vCenter にインポートされた ESXi ホストを VMware します。
- ESXi ホスト上の 3 つのポート グループ : DCNM 管理ネットワーク、拡張されたファブリック管理ネットワーク、EPL およびテレメトリ機能用インバンドインターフェイス。
- Cisco DCNM オープン仮想アプライアンスにより管理される Cisco プログラマブル ファブリックでスイッチの数を決定します。
- VMware vCenter Web クライアントが DCNM OVA インストールのため起動されているホストで、ウイルス対策ソフトウェア (McAfee など) が実行されていないことを確認します。ウイルス対策ソフトウェアが実行中の場合、DCNM インストールに失敗する可能性があります。
- DCNM オープン仮想アプライアンスは、ESXi ホストで展開されているものとも互換性があります。ESXi ホストでの展開の場合、VMware vSphere クライアントアプリケーションは必須です。



Note CPU およびメモリ要件の詳細については、memory requirements, Cisco DCNM リリース ノート、リリース 11.0(1) の「」のセクションを参照してください。

DCNM ISO 仮想アプライアンスの前提条件

既存のアクティブ/スタンバイ ネイティブ HA DCNM アプライアンスに、追加のアクティブまたはスタンバイ ノードを追加しないようにしてください。インストールは失敗します。

Cisco DCNM ISO 仮想アプライアンスをインストールする前に、ホストまたはハイパーバイザを設定する必要があります。要件に基づいて、CPU とメモリの要件に基づいて、セットアップホスト マシンまたはハイパーバイザを設定します。



Note CPU とメモリ要件の詳細については、「Cisco DCNM リリース ノート」の「サーバーリソースの要件」セクションを参照してください。

次のいずれかのホストを設定して、DCNM ISO 仮想アプライアンスをインストールすることができます。

VMware ESXi

ホスト マシンは ESXi を使用してインストールされ、2つのポート グループが作成されます。1つは EFM ネットワーク用、もう 1つは DCNM 管理ネットワーク用です。拡張ファブリックインバンド ネットワークはオプションです。

カーネルベース仮想マシン (KVM)

ホスト マシンは、Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 5.x、6.x または 7.x とともにインストールされ、KVM ライブラリとグラフィカル ユーザー インターフェイス (GUI) にアクセスします。GUI では、仮想マシン マネージャにアクセスして、Cisco DCNM 仮想アプライアンスを展開して管理することができます。2つのネットワークが作成されます (EFM ネットワークと DCNM 管理ネットワーク)。通常、DCNM 管理ネットワークは、他のサブネットからアクセスするためにブリッジされます。さまざまなタイプのネットワークを作成する方法については、KVM のマニュアルを参照してください。



Note CentOS や Ubuntu などの他のプラットフォームの KVM は、互換性マトリクスが増加するためサポートされません。

Cisco DCNM 仮想アプライアンス HA の前提条件

ここでは、ハイアベイラビリティ (HA) 環境を得るための前提条件について説明します。

HA モードで Cisco DCNM 仮想アプライアンスを展開する

2つのスタンドアロン仮想アプライアンス (OVA と ISO) を展開する必要があります。両方の仮想アプライアンスを展開する場合は、次の条件を満たす必要があります。

- アクティブ OVA の eth0 は、スタンバイ仮想アプライアンスの eth0 と同じサブネットに存在する必要があります。アクティブ仮想アプライアンスの eth1 は、スタンバイ OVA の eth1 と同じサブネットに存在する必要があります。アクティブ仮想アプライアンスの eth2 は、スタンバイアプライアンスの eth2 と同じサブネットに存在する必要があります。
- 両方の仮想アプライアンスは、同じ管理パスワードを使用して展開する必要があります。このプロセスにより、両方の仮想アプライアンスが互いに重複していることが保証されません。
- 既存のアクティブ/スタンバイネイティブ HA DCNM アプライアンスに追加のアクティブまたはスタンバイノードを追加しようとすると、インストールが失敗します。

仮想 IP アドレスの可用性

サーバ eth0 および eth1 インターフェイスを設定するには、2つの空き IP アドレスが必要です。ただし、eth2 IP アドレスはオプションです。最初の IP アドレスは、管理アクセスネットワークで使用されます。これは、OVA の管理アクセス (eth0) インターフェイスと同じサブネット内にある必要があります。2番目の IP アドレスは、enhanced fabric management (eth1) インターフェイス (スイッチ/POAP 管理ネットワーク) と同じサブネット内にある必要があります。

DCNM サーバのインバンド管理 (eth2) の設定を選択した場合は、別の IP アドレスを予約する必要があります。ネイティブ HA セットアップでは、プライマリサーバとセカンダリサーバの eth2 インターフェイスが同じサブネット内にある必要があります。

NTP サーバのインストール

大部分の HA 機能を動作させるには、NTP サーバを使用して両方の OVA の時刻を同期する必要があります。通常、インストールは管理アクセスネットワーク (eth0) インターフェイスにあります。

